CHIYODA KOGYO CO.,LTD
千代田工業株式会社
本社・工場 〒529-1311 滋賀県愛知郡愛荘町石橋804番地
TEL.0749-42-2718 FAX.0749-42-2703
大阪営業所 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1番21号
TEL.06-6358-3541 FAX.06-6358-3367

■日本水道協会検査工場（第R−28号）
■大阪府知事許可一般建設業（管工事業）
（般−21）第123860号

ARF
フランジ角度修傾継手

ARF修傾継手は、空気弁や地下式消火栓などの配管機器の設置角度を正確に補正するために設計された製品です。上下の補修板を回転させることで、0°～8°の範囲で微調整が可能であり、水平出し作業を容易に行えます。

製品構成
- 傾斜盤：2個
- ガスケット：2枚
- ボルト、ナット、座金：一式
- 横脱止めフランジ：1個

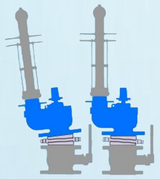
製品の特徴
- 角度調整の自由度: 0°～8°の範囲で任意の角度に調整可能。
- 簡単な操作性: 上下の補修板を回転させるだけで角度調整が完了。
- 高い精度: 水準器などを併用することで、精密な水平出しが可能。
- 耐久性: 長期間の使用に耐えうる高い耐久性。

ARF フランジ角度修傾継手

フランジ角度を簡単補正
（0°～８°迄の角度を補正）

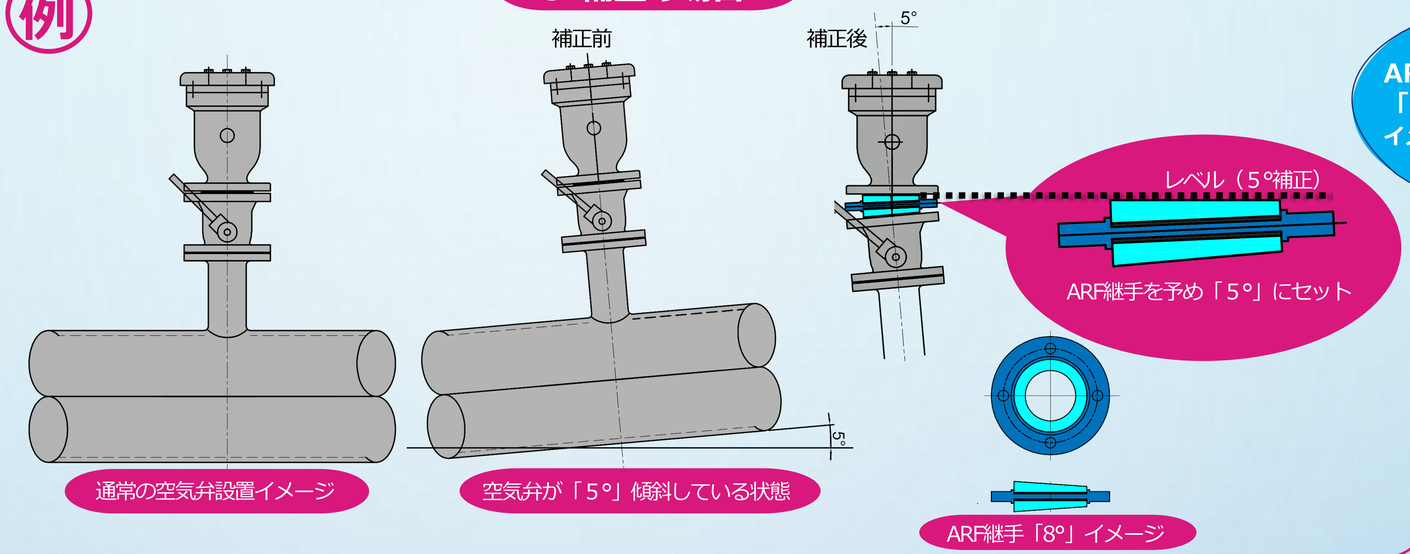
使用目的
- 空気弁の設置角度の補正
- 地下式消火栓の設置角度の補正

ARF継手は、
ARF本体、傾斜板（２個）、
パッキン（２枚）、専用ボルト
ナットをセットしています。



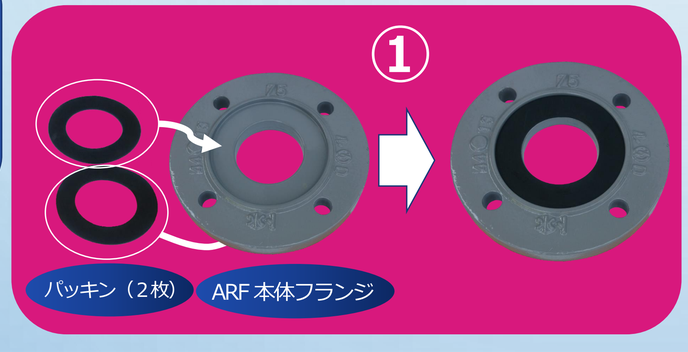
地下式消火栓に取付けた場合のイメージ

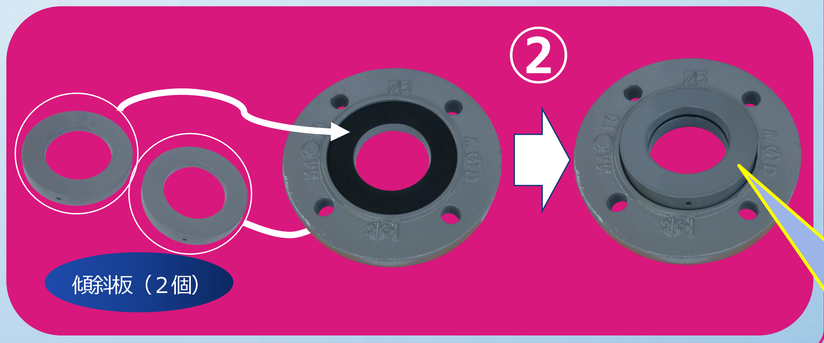
例　5°補正の場合

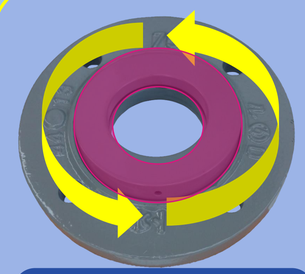


ARF継手を使って「5°」を補正したイメージです！

※ARFは本体を挟み込むようにしてまず、①「パッキン」をARF本体フランジの上下にセットして、② 次に「傾斜板」を同じくARF本体フランジを挟み込むようにして上下にセットします。







※上下（表裏）の「傾斜板」を「まわし」ながら調整しレベルをだします。

0°～8°を容易にレベル補正！

H=50mm (本体：FCD・内外面紛体塗装)！

呼び径：Φ75、Φ100、Φ150

専用継手材（ボルトナットワッシャー等）付！

ARF修傾継手の取り付け手順

1.準備:
- 取り付け位置を確認し、必要な工具を準備します。
- 傾斜盤、ガスケット、ボルト、ナット、座金などを用意します。

2.傾斜盤の組み付け:
傾斜盤をガスケットと共に組み、上下共回して大体の位置・角度を合わせます。

3.立ち上り管への設置:
立ち上り管に乗せてボルト穴位置を合わせ、傾斜盤を回して微調整を行います。

4.水平出し:
水準器などで水平を出し、空気弁またはその補修弁を乗せてボルト・ナットを締付けます。

5.締め付け確認:
全てのボルト・ナットがしっかりと締められていることを確認します。

ご使用上の注意

- **使用範囲:** 本製品はフランジとフランジの間に挟み込むため、配管フランジ等への使用はできません。
- **調整範囲:** 調整可能な角度は0°～8°です。
- **取扱説明書:** 必ず取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- **安全対策:** 作業時は、必ず安全帽、安全靴、手袋などを着用し、安全に作業を行ってください。
- **周辺の確認:** 作業を行う際は、周囲の状況を確認し、他の作業者や通行人などに注意してください。